

# 応急処置講座を終えて

10月18日(火)に広域消防本部の救急隊員の方をお招きして救急講座を開催しました。参加者5組と予定より少ない人数でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。

## 火傷

火傷は軽度、中度、重度に分けられます。  
(日焼けも軽度の火傷になるそうです。)

火傷をしてしまったら衣服は脱がさず、そのままの状態  
で流水で冷やす。(5分くらい)

- ・衣服を脱がしてはいけない理由は、衣服の下に水ぶくれができていたり、衣服を脱がした事で水ぶくれが破れてしまうことがあるからです。また、水ぶくれが破れてしまったところから細菌が入ってしまい感染を起こしてしまう場合があります。

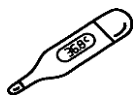
軽度・・・流水で流して様子を見る。

中度・・・水ぶくれになる。流水で流す。(5分くらい)  
水ぶくれをガーゼ等で覆い、つぶさないように気を付ける。

自然治癒するまでつぶさないようにする。  
患部が広いときは病院に行く。

重度・・・患部は黒くなり、痛みを感じない。  
救急車を呼ぶ。救急車が到着するまで流水で冷やし続ける。

☆冷やす時に保冷剤を使うと冷やしすぎてしまうのでよくない。



## 発熱(熱性けいれん)

発熱はウイルスと戦っている時に起きる症状です。

処置としては、

頭部やわきの下を冷やす。厚着をさせない。  
布団をかけすぎない。水分を十分に摂る。

### 熱性けいれん

急激に熱が上がった時におきることがある。

症状

ふるえる。手足を突っ張る。

顔色が変わる。



処置

・けいれんがおきている時は身体をゆすったりせず、そのまま様子を見る。

・嘔吐する場合があるので体を横に向ける。

以下の場合には重症となる場合があるので、救急車を呼ぶ。

・けいれんは1～2分で治まる。それ以上続く時

・何度も繰り返す時

・意識が無い時

☆1～2分で治まり、顔色が戻って意識もあり普通になつたらかりつけの病院を受診する。

時間外の場合は翌日を待っても良いが、不安な時は#8000または#7119に電話をして相談するのも良い。

※動画が撮れる状況であれば撮り、時間を計り記録しておく救急隊員や医師に正確に伝えることができる。

## 鼻血が出た時



鼻をぶついたりいじったりして鼻血が出た時は、顔をうつむきかげんにし、小鼻の少し上をつまんで数分圧迫し、止血する。口の中に流れ落ちた血が出せるのであれば吐き出させる。

上記以外にも心肺蘇生法やのどに異物が入ったときの吐き出させ方のお話を聞くことが出来ました。

・心肺蘇生法では心マッサージを体験し、かなり強い力でしないとイケないですね～。

骨を折ってしまいそう。という声も聞かれました。

・異物が詰まったときは吐き出させる意味で背中をたたか様子を救命士の方が床をたたいて“こんな感じです”とみほんを見せてくれました。この時もこんなに強くとたたかないとイケないんですね～。と言っていました。

みなさんの声を聴いて救命士の方が骨が折れても骨は治りますからね！と言われ参加者一同納得していました。



## 参加した方の感想

・まだ けいれんを起こしたことがないので、対処法を知ることが出来て良かった。ただ 実際にわが子に起きたらあせって119してしまうと思います。

・病気やけがの対応などネットで調べると情報が多すぎて、何を信じて良いか分からなかったが、今回直接色々なことを知ることが出来て良かったです。

・いざという時の為の備えは大切だと感じました。

・実践的な内容が多く、大変勉強になりました。また参加したいです。

・説明が丁寧で分かりやすく、質問もしやすい雰囲気でした。

・まだ けいれんを起こしたことがないので、対処法を知ることが出来て良かった。ただ 実際にわが子に起きたらあせって119してしまうと思います。

・普段体調を崩すことがないので、いざという時の対処を知ることが出来て良かったです。

・救急車はハードルが高いと思っていましたが少しさがりました。

・また 機会があったら参加したいです。

